

優秀賞

タイトル 二世帯住宅を、夫婦と愛犬がのんびりと暮らすゆったりとした単世帯の住まいに

タイプ 持家一戸建
構造 在来木造

講評 家族構成の変化により、丸々使わない水まわり設備や使わない部屋が発生し、無駄の多かった築20年の二世帯住宅のリフォーム。減築しながら、梁を見せ、蔵書が並び、夫婦と愛犬が暮らす単世帯の住まいに変身させた。

リフォーム前後の写真

Before



二世帯住宅だったが、家族構成が変わり、水まわりが二世帯分残ったり、使わなくなった部屋があるなど無駄が多かった。

After

木の梁を活かした吹抜けが光と風を呼び込み、いくつも設けたくつろぎの場で過ごす明るい住まいが完成。



リフォーム前は奥の階段の向かいにあったキッチン1階中央方向に移動。階段もスケルトンタイプのものに架け替えました。新しいキッチンは大きな窓があって明るく、正面は庭を見通せます。



2



3



4

吹抜けを囲む回廊をブックギャラリーに。手すり壁の2階ブックギャラリーの南側はチェアとテーブルを置いた読書スペース。日が差し込む南側だけは細いスチール製の手すりにして、光を取り込みました。同色の自然塗料で塗装。天井の一部には、黒竹を使用。



5

堂々とした梁を楽しむ吹抜けのリビング。天井には新たに垂木をあしらった梁とのバランスをとっています。壁の一部には大胆に石英を張りました。2階のブックギャラリーの手すり壁は絵を飾るスペースとしても活躍。リビングでくつろぐ愛犬も床暖房が入ったタイル床がお気に入り。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

(リフォームの動機) 二世帯を単世帯に、不要な設備を減築しながらリフォームしたい。1階の暗さを解消したい。大好きなジャズが楽しめる広いリビングや庭を見渡せるキッチンがほしい。たくさんの蔵書を一か所にまとめたい。

(設計・施工の工夫点) 単世帯だけになって必要なくなった2階床を減築し、吹抜けを作り、暗かった1階に光と風を取り入れた。現況調査の結果、天井裏に立派な太い梁がしっかりと組み込まれていることがわかり、梁を活かした空間を提案した。あえて見せた梁や小屋組みに合わせて1階の天井に新しく垂木を施し、木質感の落ち着くデザインに。2階天井に黒竹を用い、壁には珪藻土をコテ塗り。吹抜け部分の壁は、梁の存在感に負けない質感豊かな天然石で仕上げた。

性能向上の特性
耐震性能、耐久性能、バリアフリー性能、
温熱性能、防犯性能、室内空気環境

特に配慮した事項

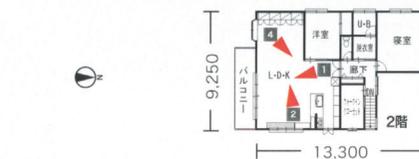
合成接着梁、ショット高タフパネル、オリジナル梁受け金物、防蟻再施工、設備機器の交換により、耐久性を向上させた。施工範囲においては、床の段差を解消し、バリアフリー化した。床・壁・天井に断熱材を充填し、複層サッシに交換したことで、断熱性能の向上を図った。シャッター、面格子を設置し、防犯性能を向上させた。壁材に珪藻土、天井には黒竹を用い、空気浄化、調湿効果を図った。

げた。外部にデッキとパーゴラを配置。庭の空間を取り込み、LDKに広がりを持たせた。

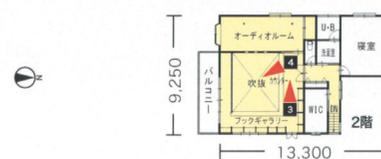
(住宅の価値を向上させた内容) 温熱性能に関しても、床暖房、複層サッシなどを使用し、快適性も向上。合成接着梁、タフパネルやオリジナル金物を使用し、独自のノウハウを活かして構造を補強。リフォームすることにより既設を活かしながらも、全く異なる空間が生まれ、新しいライフスタイルと光と風、質感を提供。

(施主の感想) 木や石、珪藻土やタイルなどの豊かな自然素材に囲まれたリビングに満足しています。1階が明るく開放的になった。2階から1階を見下ろしたり、天井を見上げて眺めるのが楽しいです。

リフォーム前



リフォーム後



1/429

リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分